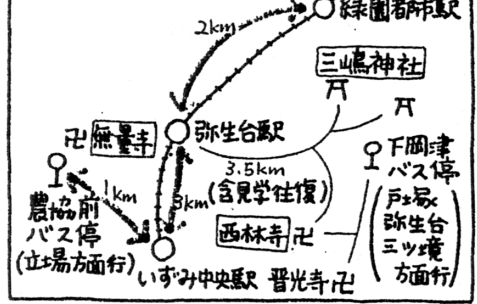


交通アクセス



ごいんば跡の途中から
無量寺に抜ける道ももう一つの
大山道であると云われている

旧道は区役所入口の
小公園内を斜めに横切り
和泉川を渡る石橋があった

のどかな田園風景
大山・富士山がよく見える

三角形の土地
明治の検地の時に
余った土地を云う。
和泉・中田・阿久和に
振り分けられた

堅牢大地神
左面 此方大山道
右面 此方かしを道
慶応二年(1866)

蚕御霊神
大山道(指印)
明治十一年(1878)

廣申塔
右大山道
左藤沢道
万延元年(1860)

堅牢大地神
左面 此方大山道
右面 此方かしを道
慶応二年(1866)

地神塔
上り大山道
下りかしを道
安政二年(1855)

不動明王
大山道
右ほしのや道
享保十年(1725)

廣申塔
大山道
寛政八年(1796)

柏尾通り
大山道に沿って
和泉方面と岡津方面

泉区 古道散策 マップ

作成：古道調査研究会 (泉区生涯学級)

①～⑮ 史跡ポイント
(裏面に説明文あり)

— 散策おすすめコース
... 古道

Ⅲ 柏尾通り大山道に沿って……和泉中央部、岡津・緑園方面

現在の瀬谷柏尾道路、計画中の権太坂和泉線沿いのルートは、江戸時代の柏尾通り大山道として有名であった。この道は、丘陵部にさえぎられていた現在の長後街道に代わって下飯田や名瀬、岡津、二俣川などの地方から、戸塚宿に至る産業道路を形成していた。この地区にはまた巡礼道としての「ほしのや道」、八王子との交通のための「八王子道」もあった。この地方も明治中期から昭和初期にかけて養蚕、製糸、野菜作り等が盛んで、今も農村としての姿を色濃く残している。

①普光寺・天神社 岡津町94

長禄3年(1459)と考えられる聖観音が本尊。平成3年に落慶した本堂に、弁天池や、歓喜天堂、四国八十八箇所砂踏み霊場など、何かと賑やかな寺である。

寺の入り口には、天神社があり、原田由右衛門の門人たちが建立した「筆塚」がある。

②三嶋神社 岡津町2352

岡津の三嶋神社のあたりは江戸初期、代官頭の彦坂小刑部元正の屋敷があったといわれている。彼は三目代などと呼ばれ、江戸幕府の諸制度や街道の整備、鉾山の開発に敏腕を發揮した人。三嶋神社はその守護神か。

③西林寺 岡津町1432

3世称年は捨世派の鼻祖。境内には原田由右衛門の碑や筆小塚、道標を兼ねた出羽三山供養塔などがある。

④向導寺 岡津町2114

本尊の阿弥陀如来は平安中期の定朝ふうの作風。隣の岡の上に不動堂があり、かつて大山参詣の人でにぎわったものと見られる。不動堂の隣には琴平神社のお堂がある。

⑤富士塚 岡津町 同上

不動堂の後には泉区界隈で最も形の整った富士塚がある。タテカワ講の講紋と「お身抜き」ゑぼし岩・食行身禄の石碑、法華石経塔など珍しいものがたくさんある。

⑥永明寺 岡津町1616

永明寺別院の門の前に、不動明王像を上に乗せた大きな大山道道標や出羽三山供養塔がある。

この寺から先は「西田の谷戸」と呼ばれた典型的な谷戸田であった。その途中に双体道祖神塔、地神塔があり、地神塔の台座には「下りかしを道・上り大山道」とある。

⑦中川地区センター 岡津町1993-1

かつてのこの付近の大山道の尾根にあった石仏などが、中川地区センターの中庭に置かれている。

もとの大山道は現在の魚貝亭付近で女道、男道に分かれ、女道はいなげやの前を大きく半円形に回りながら、国際親善病院の西側に向かっていった。現在、サトームセンの隣のマンション玄関前に大山道の道標がある。

男道はこの分岐点付近から西にほぼ直進し、国際親善病院の土留めになっている崖を登ったものと見られる。

⑧むじな塚 西が岡一丁目32

古道が丘陵部に駆け上がる先の畑の中に「むじな塚」と呼ばれる塚があり、墳丘上に宝篋印塔が立っている。

男道は「むじな塚」のすぐ南に廃道となって残存している。女道はその先で合流する。

⑨横山家・中丸家長屋門 新橋町999・新橋町1290

弥生台の駅から東北に向かって歩くと、小川アメニティの先の好ましい竹林の緑の中に堂々たる構えの横山家の長屋門がある。

長屋門の先は、順礼の親子の哀話を伝える順礼坂である。巡礼坂を下って阿久和川に出ると、川に面して、中丸家の長屋門が見られる。冠木門という珍しい形式。

⑩観音寺 新橋町1157

鎌倉二十三番札所。領主安藤氏の守り本尊の聖観音は、寺伝では行基作と伝えられる古いもの。

比較的最近、再整備されたが、領主の菩提寺らしい風格。

⑪神明社 新橋町1377

観音寺の前で県道を横切り、阿久和川を渡ると神明社がある。付近の地名・神明谷のもととなった神社。周囲3.25メートルのヒノキは名木古木に指定されている。

⑫横根稲荷 和泉町5963

桜の美しい神社。本殿の脇に最近発掘された「感念井戸」があり、和田義盛の愛妾巴御前が信濃に落ちていく途中で使った井戸と伝承されている。

神社の前は「豊かな大地」の碑が立つ雄大な風景の地。かつて、ここでは「ぐるまの競馬」と呼ばれる農耕馬の競走が盛んに行われた。鳥居脇にはその記憶を残して、多数の馬頭観音の碑がある。

⑬神明社・蚕霊供養塔 和泉町3595

泉小次郎館の鬼門よけと伝えられるこの神明社の脇には、冷害によって全滅した蚕の霊を慰める供養塔が立っている。その碑の側面に指印つきで大山道を示す道標を兼用しているほか、もう1基の道標もある。

⑭かさもり稲荷 上飯田町 1095

古道マップ(Ⅰ) 下飯田・下和泉の部参照

⑮無量寺 上飯田町1097

古道マップ(Ⅱ) 上飯田・日向山方面の部参照